



佐藤クリスタル

国際交流員コーナー

CIR's Corner

2023年9月 - 第16号



皆さん、こんにちは！江別市国際交流員の佐藤クリスタルです。「国際交流員コーナー」とは、私が毎月作成する国際交流や多文化についての記事です。様々な興味深い国際的なテーマを紹介します。

今月のテーマ:アメリカの生活と文化について

8月29日に、高砂自治会館で、「国際交流員が語るアメリカの生活と文化」というテーマで出前講座をしました。約45分間講演し、23名が参加しました。今回は、出前講座の内容を紹介します。



(出前講座の様子)

日本とアメリカの主な違い

私は16年間日本に住んでいます。日本とアメリカは似ているところもありますが、私の考えでは、主な違いが5つあります。

まずは、サイズですね。日本はアメリカと比べて、国も、家も、人も、食べ物も、だいたい何でも小さいです。アメリカは全てビッグサイズですね。例えば、マクドナルドのサイズは、アメリカのMサイズが日本のLサイズより大きいです。そして、BMIを比べてみると、平均的な日本人は標準になっていますが、アメリカ人の平均は28.8で、肥満ということになります。アメリカの家も日本の倍位で、とても広いです。



2番目は、考えの表し方です。日本人は婉曲で、本当の気持ちを伝えない人が多いような気がしますが、アメリカ人は率直で、意見をストレートに伝える人が多いです。アメリカ人は、子どもの時から学校で、毎日ディスカッションの授業をし、自分の意見をはっきり言う練習をしています。意見をはっきり言う傾向がありますが、何を言ってもいいというわけではありません。もちろん、話したらダメな話題があります。例えば、家族や親しい友達ではなければ、宗教、政治、年収、年齢などについて話さない方が安全ですね。そして、偏見や差別的なことを言えば、人を傷つけたり、怒らせたりすることがあります。アメリカ人と話す時には、失礼にならないように、気を付けましょうね。

3番目は、フォーマル度が全然違います。日本人は儀礼的ですが、アメリカ人はかしこまったのが苦手で、日本人と比べて気軽にカジュアルな感じます。例えば、昨年9月にも書きましたが、入学式がありませんし、卒業式の時に、友達の名前が呼ばれ、卒業証書を受け取るためにステージに上がったら、大声で声援を送ります。6月の記事に、アメリカ人のカジュアルな結婚式も紹介し

ました。個性があって、DIY 感が強い結婚式が多いような気がします。そして、英語には「敬語」がないので、年齢や役職を問わず、話し方が同じです。上司でもファーストネームで呼びます。

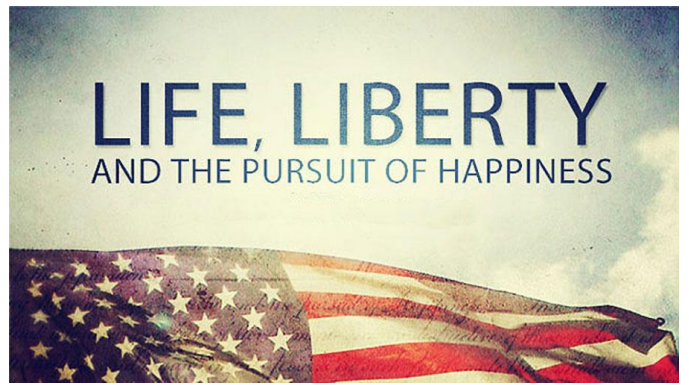
4 番目は、日本の人口は 98% が日本人ですが、アメリカは世界中の様々な人種でできている国なので、多文化、多様性があります。白人は、約 60% で一番多いですが、黒人、アジア系アメリカ人、先住民もいます。そして、移民とアメリカで生まれた移民の子どもの数が 8770 万人で、人口の約 27% です。言語は、英語が一番話されていますが、実は、公式な公用語がありません。英語以外にも 300 種類以上の言語が話されています。その中で最も多いのはスペイン語です。ヒスパニック系アメリカ人は 18.7% です。

ちなみに、アメリカ人でも分からない人もいますが、「ヒスパニック」というのは、人種ではなく、「スペイン語圏から来た」という意味です。なので、白人でも黒人でもその他の人種でもヒスパニック系アメリカ人がいます。



(私の中学校のクラスメート。様々な人種の子がいます。)

最後に、一番大きな違いは、日本は集団主義の文化だと言われています。一方で、アメリカは個人主義の文化だと言われています。アメリカの独立宣言に書かれている「Life, liberty, and the pursuit of happiness」という権利は、日本語で「生命、自由及び幸福追求の権利」という意味ですが、アメリカ人は誰でもこの言葉を心から信じて、生活をしています。自分で決断したり、自分で問題を解決したりすることが多く、自給自足を重視しています。それに、自分らしさを重視しています。日本人と比べて、アメリカ人の方が自由に生きているような気がします。



2020年代のアメリカの課題

アメリカには大きな課題が 4 つあると思います。

一つ目は、生活費です。アメリカは今大変高騰しています。そして、住宅不足の状態により、それで、家賃や家の値段が高くなっています。しかも、アメリカ人の賃金上昇ペースはインフレ率に追いついていません。物を買えず、家賃を払えず、経済的に苦しい家庭が多くなっています。

二つ目は、医療制度です。他の先進国と違って、アメリカには国民健康保険がありません。健康保険は、個人で加入するか、もしくは会社のプランに加入しなければなりません。プランによって自己負担額が違いますが、基本的に日本と比べて高いです。

三つ目は、差別です。アメリカは平等の国のはずですが、未だに人種差別、女性に対する差別、移民に対する差別、LGBT に対する差別などが深刻な問題となっています。

最後は、銃です。アメリカ人の 3 分の 1 は銃を持っており、100 人に対して、銃の数は 120.5 個なので、銃の数が人より多いです。毎年 4 万人以上のアメリカ人が銃で命を落としているので、解決すべき問題だと思っています。

アメリカは、選挙で共和党に投票する「赤い州」と民主党に投票する「青い州」に分かれており、どちらの色の州に住んでいるかにより、考え方が全然違います。意見が極端に分かれているため、アメリカの問題を解決するのは、非常に難しいと思います。2024 年の選挙が近づいていますが、共和党か民主党のどちらになるかにより、アメリカ人の生活と文化が大幅に左右されます。★

お問合せ先

教育部 生涯学習課 国際交流員
〒067-0074 北海道江別市高砂町24番地の6
Tel:011-381-1049 Fax:011-382-3434